JADM
Japanese Association for Disaster Medicine

4月25日 締切
参加無料

第23回
世界災害救急医学会
無料市民公開講座

日時 2025年5月5日 月・祝 14:00～16:00（13:30～受付開始）

会場 京王プラザホテル東京 本館44階「ハーモニー」
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

世界中から災害救急医療のエキスパートが集う
第23回世界災害救急医学会（WADEM2025）の日本開催を記念して、
市民公開講座を開催いたします。

世界を舞台に平時と緊急時の医療を支える2人の医師が語る、
ここでしか言えない世界の医療の実情を学んでみませんか？

ゴールデンウィークに、ご家族で「健やかでいること」について
考える機会を持ってみませんか？
災害医療や海外の医療状況に興味のある方、将来を考える学生のみなさん、
世界の医療について一緒に考えてみませんか？

こんなおもろい仕事はあれへん
―米国のプライマリーケア

森川雅浩 もりかわ まさひろ

ヴァージニア大学家庭医学部教授
同大学メディカルセンター家庭医学外来・病棟主任

カンボジアから世界へ
～NPO法人あおぞらとエレコムが挑む新生児支援～

葉田甲太 はだ こうた

医師
認定NPO法人あおぞら理事長
エレコムヘルスケア株式会社 取締役社長

■主　　催■ 一般社団法人 日本災害医学会 / 第23回世界災害救急医学会 組織委員会 / 日本学術会議

■お問合せ先■ 第23回世界災害救急医学会 市民公開講座 運営事務局
wadem2025@convention.co.jp

第23回世界災害救急医学会
無料市民公開講座

2025年 5/5（月・祝）
14:00 ～ 16:00（13:30～受付開始）
京王プラザホテル東京 本館44階「ハーモニー」
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

こんなおもろい仕事はあれへん
―米国のプライマリーケア

森川雅浩

ヴァージニア大学家庭医学部教授
同大学メディカルセンター家庭医学外来・病棟主任

米国の医療は矛盾だらけです。世界で一番の高額医療の割に、先進国の中で最低に近い保健指標。でも実践を重視する臨床研修を求めて、世界中から研修医志望者が殺到します。日本で救急外科医だった僕が、アメリカで家庭医（かかりつけ医）として外来病棟を通して患者さんに接し、また研修医を多人種、多文化、多様性の中で育てていく日常の醍醐味は何かを紹介したいと思います。

略歴 1987年東京医科大学卒業。日本医科大学付属病院救命救急センター、亀田総合病院にて救急医療、外科を研修。医学部在学中にエチオピア、タイ－カンボジア国境難民キャンプ緊急医療救援に参加。国際保健をやっていくことを決め、1992年、外務省、経団連により設立された財団法人国際開発高等教育機構（FASID）の奨学金により渡米。ジョンズホプキンス大学大学院公衆衛生学部修士号取得。博士課程修了退学。1997年ケースウエスタンリザーブ大学家庭医学研修医修了。その後、同大学家庭医学部教授、家庭医学病棟主任、Global Health Track 主任として国際保健、臨床教育に従事。アジア、アフリカ、バルカン、中米で、人的災害医療救援、医療支援、医療従事者教育に従事。2019年より、ヴァージニア大学家庭医学部教授、同大学メディカルセンター家庭医学外来・病棟主任。2011年オハイオ州家庭医学会“Educator of the Year”、2012年全米家庭医学学会“Exemplary Educator of the Year”受賞。米国松濤館空手初段。趣味は多読、木工、庭仕事。

カンボジアから世界へ
～NPO法人あおぞらとエレコムが挑む新生児支援～

葉田甲太

医師
認定NPO法人あおぞら理事長
エレコムヘルスケア株式会社 取締役社長

略歴 1984年生まれ。国境なき医師団に憧れ、日本医科大学医学部医学科に入学。学生時代にカンボジアと出会い、現地に小学校を建設。その経緯をつづった本「僕たちは世界を変えることができない。But, we wanna build a school in Cambodia.」を2008年に出版、2011年に向井理さん主演で映画化。僻地医療、離島医療から東京でのICUまで総合診療医として勤務しながら、2017年7月に認定NPO法人あおぞらを設立。世界各国でJICAなどと連携しながら遠隔新生児蘇生法教育などを実施。2023年10月、ITの力を使いさらに世界に医療を届けるためエレコムヘルスケア株式会社取締役社長に就任。

「認定NPO法人あおぞら」では、新生児蘇生の技術と知識を、途上国の医療従事者に届けるため、国際支援に取り組んでいます。現在は、エレコムとの連携により、現場の声を反映した「新生児蘇生シミュレーター」の開発・展開にも力を入れています。

本講演では、
・カンボジアでの小学校建設から始まった私自身の原体験
・「新生児を失った母親」との出会いが生んだNPO法人のストーリー
・新生児蘇生支援の国際展開（アジア・アフリカ各国での活動事例）
・エレコムと共に取り組む「新生児蘇生シミュレーター」の開発背景と導入事例
・支援現場から見えた、途上国の「持続可能な医療支援」のヒント

を中心にお話しし、「1つの命を救うことで、地域や未来を変えていく」支援の可能性について、現場のリアルを交えながらお伝えさせていただければ幸いです。

参加申し込み

https://forms.office.com/r/wCjANRLu0x
よりお申込みください　4月25日締切

＼ 席に余裕がある限りは、申し込みをしていない方の当日参加も受け付けます！ ／